

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度検討会議（令和2年度 第6回）

議事要旨

1. 日 時 令和3年2月10日（水） 14:00～16:00

2. 場 所 中央合同庁舎4号館 2階 特別会議室

3. 出席者※敬称略

座長 永田 恭介	筑波大学 学長、一般社団法人国立大学協会 会長
副座長 安宅 和人	慶應義塾大学 環境情報学部 教授、ヤフー株式会社 CSO
安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会 顧問・学術情報分析センター 所長、AI戦略 実行会議 座長
五十嵐 悠紀	明治大学 総合数理学部 専任准教授
岡本 和夫	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 参与
北野 宏明	一般社団法人日本経済団体連合会 イノベーション委員会 AI活用戦略TF 主査、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長、AI 戦略実行会議 構成員
草野 隆史	株式会社ブレインパッド 代表取締役社長、一般社団法人データサイエンティ スト協会 代表理事、一般社団法人日本ディープラーニング協会 理事
孝忠 大輔	日本電気株式会社 AI・アナリティクス事業部 AI人材育成センター センタ ー長
小谷 元子	東北大学 理事・副学長、東北大学 材料科学高等研究所 教授 兼 大学院理 学研究科数学専攻 教授、総合科学技術・イノベーション会議 議員
坂本 真樹	電気通信大学 教授・副学長
神成 淳司	慶應義塾大学 環境情報学部 教授、内閣官房 副政府CIO / 情報通信技術(IT) 総合戦略室 室長代理、AI戦略実行会議 構成員
杉山 将	理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長、東京大学 大学院新領 域創成科学研究科 教授
竹村 彰通	滋賀大学 データサイエンス学部 学部長、研究科長
樫 広計	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 理事、統計数理研究所 所長
長谷山 美紀	北海道大学 大学院情報科学研究院 研究院長
松尾 豊	東京大学 大学院工学系研究科 教授
村田 治	関西学院大学 学長
八木 康史	大阪大学 産業科学研究所 教授
山中 竹春	横浜市立大学 大学院データサイエンス研究科 研究科長・医学部 臨床統計学 主任教授、国立がん研究センター東病院 研究企画推進部
ルゾンカ 典子	ソニー銀行株式会社 執行役員

4. 議題

- (1) 第5回検討会議での議論のポイント
- (2) 応用基礎レベルの認定制度について
- (3) 意見交換
- (4) その他

5. 資料

- 資料1 「第5回検討会議での議論のポイント」
- 資料2 「応用基礎レベルのスコープについて」 【非公開資料】
- 資料3 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）について（案）」
【非公開資料】
- 資料4 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の創設
について（案）【非公開資料】

- 参考資料1 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度検討会議
（令和2年度第5回）議事要旨

6. 議事要旨

- (1) 第5回検討会議での議論のポイント

事務局から資料1、2に基づき、第5回会合での意見等のまとめ、今後の対応方針案、及び本日の論点について説明が行われた。

- (2) 応用基礎レベルの認定制度について

事務局から資料3、4に基づき、応用基礎レベルの認定制度について説明が行われた。

- (3) 意見交換

議題(2)を踏まえ、応用基礎レベルの認定制度の基本的考え方や認定要件を中心に、以下の点が議論され、意見を踏まえ、報告書案を作成することとなった。

- 「認定教育プログラム（応用基礎レベル）+」について
 - ステークホルダーが具体的に誰を指すのかを明示すべき。
 - 特に優れた教育プログラムとしての例を挙げるべき。
- 認定制度（応用基礎レベル）の「認定要件」について
 - 特定の学部では必須項目として開講することに加え、その他全学部に対しては少数名履修可能とすることで、認定要件として設けた「全学に向けて開講していること」を満たすことができるのではないか。
 - 申請対象の教育プログラムと認定教育プログラム（リテラシーレベル）との関係を明示することを「認定要件」として盛り込むのではなく、「大学等が取り組む教育体系全体における当該プログラムの位置づけや妥当性を説明すること。」との要件を設ける方針がよいのではないか。
- カリキュラムの提供方法について（オンライン教育やe-learningの活用について）

- オンラインや e-learning を教育方法として認めなければ、教育リソースの観点から教育プログラムの運用が困難である。オンライン/オフラインの観点よりも「双方向性」のある実践的な教育プログラムであることを重視してはどうか。

(4) その他

事務局から今後の予定について説明があった。

以上